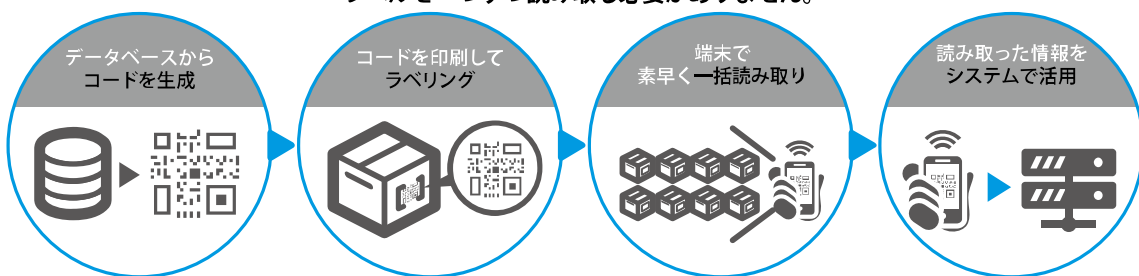


一括読み取りが可能な二次元コード技術 可視コード複数認識の活用で業務改善を実現!

特徴

スマートフォンやカメラで**複数のコードをまとめて**読み取れる!

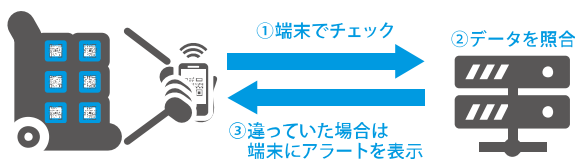
データベースから生成したコードを、専用読み取りアプリ等を使って、素早く一括で読み取ることができます。ラベルを一つずつ読み取る必要がありません。



主な活用例

入在庫管理に

在庫管理システム等とフルスキャンコードを連動させることで、入出庫時の確認作業をスピードアップできます。



商品棚管理に

陳列する商品にフルスキャンコードを添付することで、商品の入れ替え忘れやプライスカードの交換し忘れ、値引きシールの添付間違いなどの**ヒューマンエラーを防止**できます。



強み

導入・運用がしやすく、高機能!

在庫管理・入出庫管理で多く使われているRFIDやバーコード・QRコードと比べて、導入や運用のハードルが比較的安く、効率化を見込めます。いわば、RFIDとバーコード・QRコードの「いいとこ取り」ができる技術です。

効率アップ

業務効率が飛躍的に高まる

信頼度アップ

業務が効率化し、データの信頼度も高まる

コストダウン

比較的低コストで導入・運用できる

一次元コード管理の限界を解決する手段はRFIDだけではありません。

「FullScanCode」は、今までの「人 + 運用 + IoT」による管理を一層効率化できます。

投資コストが大きくなる大量生産管理、大規模流通管理でも、スモールスタートで認識の自動化を始めることが可能です。

事例

棚卸作業における業務効率化・省人化の実現事例 / LIXIL 様

導入前

15万点におよぶ在庫品などの棚卸業務が、大きな負荷に…!

LIXIL インテリア建材の製造工場では、多種多様な製品の在庫や備品状況を確認する棚卸業務に、膨大な時間を費やしていました。



導入後

時間・人数ともに、**60~70%**の効率化を実現!

棚卸時間70%削減に成功!必要な作業人数は半数以下になりました。システム導入にあたり工程全体を見直した結果、細部の改善も同時に実現しました。



FullScanCode®は、共同印刷が独自の印刷技術や画像認識技術を活用して開発した、オリジナル二次元コードです。

IoT 7つ道具®「FullScanCode」導入プロセス



基本セット構成

- スマートフォンアプリ
- 基幹・管理システム※

※FullScanCode をアドオンするためのシステム改修が必要です。

基本セット費用

FullScanCode 初期費	50万円	※1
FullScanCode 利用費	応相談	※2

※1 FullScanCode SDK 契約となります。開発モジュールでの販売契約となります。

※2 ソリューションシステム組み込みんだ際に、初期利用費と利用端末数や拠点等を参照し年額 / 月額での利用費を算出したものを利用費とします。

*出張交通費・宿泊費の経費は別途で負担頂きます

*消費税別途

ソリューション提供

FullScanCode 利用パテント契約
改善支援コンサルティング
デバイス・アプリケーション・ソリューション※

共同印刷株式会社
株式会社日本能率協会コンサルティング

※ご契約はそれぞれのソリューション提供会社と締結いただきます。

※注意点：コード技術はさまざまな環境に利用いただけます。組み込み・新規開発など多様なご環境での提供が可能です。

お申し込み方法

株式会社日本能率協会コンサルティング

お申込み・問合せ窓口： **E-Mail** info_jmac@jmac.co.jp **TEL** 03-4531-4307

貴社名		部署名	
ご連絡先	〒		
	TEL :		E-mail :
お申し込み ご相談者	ご氏名 :		

※本パンフレットは、株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)と共同印刷株式会社とが共同で作成しております。
※IoT 7つ道具は、株式会社日本能率協会コンサルティングの登録商標です。

